

令和5年(2023年)11月1日発行

新学長就任

学生支援の実績を活かし、学生に寄り添う学長へ

日本工業大学では、成田健一学長の任期満了に伴い、10月1日付で竹内貞雄教授・学長補佐が第11代学長に就任した。任期は2027年9月30日までの4年間。開学以来初めて、本学出身者の学長就任となる。

竹内新学長は四半世紀にわたり、本学機械工学科において教育、研究に携わってきた。専門分野は「新素材」。ダイヤモンドなど炭素系硬質膜の形成技術に関して多くの研究成果を残し、学会など学術機関から高く評価されている。これまで表面技術協会理事、同学会委員長、ニューダイヤモンドフォーラム理事、同技術調査委員などを歴任してきた。

本学においては学生支援部長、基幹工学科長、学長補佐などの要職を歴任。特に就職支援、学生生活向上、課外活動推進といった学生支援全般において、長年にわたり主導的な立場で携わってきた。

就任挨拶

デジタル社会を見据えた大学の教育・継承と進化



日本工業大学 学長 竹内 貞雄

10月1日に学長に就任いたしました。本学が1967年に設立されて56年目、11代目の学長となります。私は、付属高校(当時は東京工業高等学校)から日本工業大学に進学して1978年に卒業しました。本学出身として初めての学長となります。卒業生の代表という事、少子化による受験生確保が難しくなる状況の中、責任の重さに身の引き締まる思いです。

さて、大学を取り巻く状況は大きく変わっております。就職について、当面は現行の一括採用型が継続されますが、入社した会社に定年まで勤務するという考え方の一方で、個人の裁量でスキルアップを果たして転職していく、欧米型のジョブ型雇用が広がる予測されます。そのためには、自己啓発への意識、新しいことに積極的に取り組む資質が不可欠です。

このような意識を醸成するために学生にどのような教育を行うのか、大きな課題を突きつけられています。また、大学生の教育を考えると、革新的な技術革新が求められています。ChatGPTに代表される生成AIの急速な普及で、文書作成、表計算ソフトに搭載され、数年後には学生でも専門的なものの文章を書いてくれるでしょう。ただしAIの答えにある情報は世界で共有されており、新規性はないはず。大学の使命は、AIの答えの元に

なる創造的な研究成果を創出できる人材を育成することであり、言い換えれば「言語化できない暗黙知」を身につけたエンジニアになること、あるいは、工学の専門知識をベースにした暗黙知の引き出しを数多く備えて卒業することができると考えています。

「生涯学習」が求められる中で、成長させる力では選ばれる大学へこれからはここ数年の大学のキャッチアップです。絶え間なく世界中の情報を集め続けるAIに太刀打ちできるのは、数多くの引き出しを

埋める優れた知見と発想力であり、先人達が築いた教育体系は継承に値するものと考えています。一方少子高齢化と、世界規模の政治・経済、気候に関する不確定要因は如何ともしたいものがあります。「生き残る」は強者ではない、変化に柔軟に対応できる者だといわれています。本学としては、受験生のニーズに沿う入試、企業のニーズに対応する学生を育てる柔軟な教育体系への進化が不可欠です。健全な進化はトップダウンではなく、意見や議論を前提とした情報開示、忌憚のない意見を討議できる場、責任を持って実行するための権限の移譲が必要と考えています。そのための舵取りに全力で取り組み、教職員とともに本学の発展に努めてまいります。どうかよろしく、お願い致します。

竹内 貞雄(たけうち さだお) 略歴
1956年3月 長野県生まれ 67歳
1978年3月 日本工業大学工学部機械工学科卒業
1980年4月 日本工業大学教育技術員
1995年11月 日本工業大学助手
1996年3月 日本工業大学大学院工学研究科博士課程(後期)機械工学専攻修了 博士(工学)
1996年4月 日本工業大学講師
2002年4月 日本工業大学助教授
2006年4月 日本工業大学教授
2011年12月 日本工業大学学生支援部長
2018年4月 日本工業大学基幹工学科長
2021年4月 日本工業大学特任教授/学長補佐

インドの大学生が 研修と交流を体験

さくらサイエンスプログラム

科学技術振興機構の国際交流事業「さくらサイエンス・プログラム」の一環として、インドのM・クラサミー工科大学の学生10名が9月10日から16日にかけて、本学で研修を行った。期間中、参加学生たちは英語学習サポートセンターや本学付属高等学校を訪問し、教職員、学生、生徒と交流した。南インドのタミル・ナドゥ州の紹介等を通じてインドの多様性、多元性などアジアの大国の今について発表し、両国の学生・生徒にとっては貴重な異文化交流体験となった。さらには、本学教員による講義も受講し、人工知能などが印象的であった。

1週間の研修を終え、参加学生の多くが「今回色々な方々と交流し、学習や見学が体験できてとても良かった。日本で働きたい気持ちにさらに強くなった」と話していたのが印象的であった。



工業技術博物館の見学



英語学習サポートセンターで交流



人工知能に関する授業

まだまだ間に合う年内合格! 2024年度入試日程(年内)

【基幹工学部】 機械工学科・電気電子通信工学科・応用化学科 【建築学部】 建築学科(建築コース/生活環境デザインコース) 【先進工学部】 ロボティクス学科・情報メディア工学科・データサイエンス学科

Table with columns: 入試種別, 出願期間, 試験日と試験会場, 合格発表日. Rows include school-recommended selection, public selection, and international student selection.

※ 全ての入試において、インターネットからの出願です。本学HPからアクセスしてください。
※ 各入試の詳細は、それぞれの「募集要項」を確認してください。

【年明け入試のお知らせ】 一般選抜A・共通テスト利用A WEB受付 12/15(金)よりスタート! 詳細は、受験生サイトよりご確認ください。



https://juken.nit.ac.jp/examination/info/ お問い合わせ先 入試課 電話: 0120-250-267

日本工業大学大学院 社会人特別選抜

◆大学院工学研究科 (博士前期課程・博士後期課程)

2024年度 入試日程

Table with columns: 日程, 出願期間, 面接試験, 合格発表, 手続締切. Row for 二次募集 shows dates from Feb 7 to Mar 6, 2024.

お問合せ先: 教務部教務課 大学院入試係 TEL 0480-33-7507

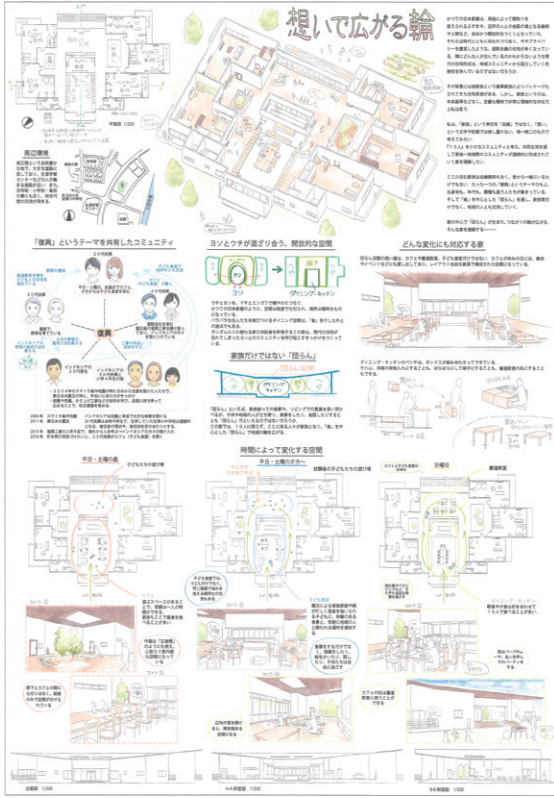
第37回日本工業大学建築設計競技

全国から45校109作品 テーマ「10人家族の家」

【審査委員長の講評】

今回のコンペでは、皆さんの世代が家についてどう考えているのかを知りたくて、あえて、先入観に囚われにくい課題を、難しいことは承知の上で、出題しました。上位の作品はどれも、世の中の動き・潮流を若い目線で読み取りながら、なんとかモノにしようとしていました。このフレッシュな集合体に、家という概念が変わる部分と変わらない部分があること、変わる部分については、厳しい現実がある中でも、悲壮感乗り越えながら前向きなエネルギーを持って取り組んでいる姿勢に、私はとても励まされ、勇気をもらうことができました。この場を借りて、改めてお礼を申し上げたいと思います。ありがとうございました。

中川エリカ（中川エリカ建築設計事務所主宰・慶應義塾大学大学院専任講師）



1等作品

○印は共同作品の代表者

入賞者

審査結果	氏名	学校名
1等	佐々木 環	仙台市立仙台工業高等学校
2等	○奥野 瑞香	広島市立広島工業高等学校
	石井 桜心	
3等	卯辰 考平	三重県立伊勢工業高等学校
	根岸 瑞季	
審査員賞 (中川エリカ)		
審査員賞 (木下芳郎)	○中田 雷斗 杉本 小池	富山県立富山工業高等学校
審査員賞 (吉村英孝)	○早川 爽音 藤本 咲希	神戸市立科学技術高等学校
佳作	安藤 康太郎	三重県立四日市工業高等学校
佳作	○古川 日向 渡邊 隼	栃木県立宇都宮工業高等学校
佳作	○笠見 伯陽 植柳 奈汰	茨城県立つくば工科高等学校
佳作	○平田 美怜 金澤 翼	茨城県立つくば工科高等学校
佳作	安武 春輝	福岡県立福岡工業高等学校
佳作	奈良 翼	神戸市立科学技術高等学校
佳作	大石 梓	静岡県立科学技術高等学校

審査結果	氏名	学校名
奨励賞	○那花 大成 窪田 巧輝	栃木県立宇都宮工業高等学校
奨励賞	高瀬 心華	青森県立十和田工業高等学校
奨励賞	渡辺 一匠	山梨県立甲府工業高等学校
奨励賞	加藤 さくら	福岡県立福岡工業高等学校
奨励賞	宇都 椋太	国立石川工業高等専門学校
奨励賞	多和 凜空	高知県立宿毛工業高等学校
奨励賞	前川 遥紀	兵庫県立龍野北高等学校
奨励賞	○岩本 拓真 廣末 一汰 幸野 昂	大分県立大分工業高等学校
奨励賞	坂本 大和	青森県立弘前工業高等学校
奨励賞	澤谷 健	富山県立高岡芸芸高等学校
奨励賞	浦山 優	福島県立福島工業高等学校
奨励賞	川岸 佑依	群馬県立館林商工高等学校
奨励賞	眞城 玲亜	静岡県立浜松工業高等学校
奨励賞	月花 真結	静岡県立浜松工業高等学校
奨励賞	合田 智琉	愛媛県立東予高等学校
奨励学校賞※応募多数校		国立石川工業高等専門学校 福島県立勿来工業高等学校

第一線の実業家が講師を務める 川口信金寄附講座「創業の基礎」

9月6日、川口信用金庫による寄附講座「創業の基礎」が、同金庫の木村幹雄理事長より成田健一学長（当時）へ目録が贈呈された。本講座は創業の基礎を学



木村理事（右）より成田学長（当時）に目録が贈られた

び、理解することを目的として毎年開講されておられ、今年で12年目となる。本講座では同金庫職員や第一線の実業家が講師を務め、公的支援機関による創業施策、実際の起業家による自身の創業ストーリーといった活きた体験などを紹介する。金融機関ならではの視点を盛り込むことで、将来の創業・新事業企画等に役立つ実践的な知識の修得を目指す。

昨今の起業意識の高まりから、9月26日の第1回目の授業では、昨年より2倍以上となる49名の学生が参加した。講師を務める同金庫の岸則氏氏は「今年度は外部講義の方の年齢を若めに設定してみました。特に重点項目として、創業に必要なサービス・商品は何か、対象顧客は誰なのか、価格はどのくらいで決定するのかといった『事業としての継続性』を意識していただきます。例年通り起業家の方々に加えて、中小企業診断士や公認会計士と様々な切り口で創業について知ることが出来る授業としたいです」と意気込みを語った。

授業は来年1月16日まで全14回実施される。

専門職大学院だより 日本の半導体競争力と技術経営思想

大学院技術経営研究科・教授 岡本 和也

DX、GX、そしてC X。アルファベットを羅列した言葉が、その定義が必ずしも明確でなく、最近ではChatGPTに代表される生成AI（人工知能）も登場し、それは創造性を示すスコアにおいて人間の能力を超えたと言われている。まさにデジタル革命の一例といえるが、その背景の基軸には半導体技術の先端性がある。この半導体はシリコンを基板とし、新型コロナウイルスの1/3以下のサイズの1/3以下のサイズに設計・製造されるトランジスタにより構成される。日本でも2mm先端半導体（実際の最小パターン線幅は11nm）への総投資額5兆円とされるプロジェクトの成否が注目されている。日本の半導体技術と産業について考えたい。まず、「微細化技術」。これは性能を左右するトランジスタを約2年周期で縮小させ、かつ半導体チップ面積を約半分とすることで経済性も担保する思想（ムーアの法則）である。EUV露光装置は極紫外線（波長13.5nm）を用いた人類史上最も精密な機械とされ、1台250億円を超える市場価格は製造コストに必然的に跳ね返り、費用限界に至る。そこで奔騰したのは、IP（知的財産）をもとに半導体チップを分割し、かつ基板上で高度集積する「チップレット技術」である。このコンセプト自体は古典的であるが、半導体を構成する各分野の新技术の融合が新たな息吹をもたらし、高付加価値な半導体に至らしめた。まさに、技術融合による全体最適というニューノーマルの時代を迎えている。さて、ここで考えるべきは、先進的な半導体製造装置および半導体材料に高い競争優位を有し、様々な技術に絡む深い暗黙知を有する我が国が、果たして何をなすべきか、ということ。従来のプロセスやメモリからAI半導体へと主戦場が移り変わる中、AIは万能であるとの誤想、そしてAIが質の悪いデータや失われた情報を魔法のように甦らせるという誤解を止し、我が国でも人口に膾炙し始めた冒頭のDX等の言葉に惑わされることなく、矜持を持ってこの格好の機会を

戦略的に捉えて進めるべきであろう。産業と技術、そして経営。人中心の世界観のなか、将来を見据えてなすべき事象を的確に捉えて進めることが肝要であり、日本における半導体産業は、今まさに技術経営思想のあり方を問う局面を迎えている。

専門職大学院オープンキャンパス
2023 **12/9(土)** 2024 **1/20(土)**
説明会、パネルディスカッション、模擬授業、キャンパスツアー等を実施予定
※状況により日程、内容を変更する場合があります
TEL. 03-3511-7591 mot@kanda.nit.ac.jp

NITプロダクトデザインコンテスト2023

海外参加者を含む141作品が応募



3Dモデリング部門優秀賞 「三輪で動くお掃除ロボット」(井原光貴)



オリジナルアイデア部門優秀賞 「走破性に特化した履帯型バイク」(坂卓実)

オリジナルアイデア部門82作品、自由部門35作品、3Dモデリング部門13作品、3Dプリンター造形部門11作品の、昨年度より約30作品多い計141作品が提出された。昨年度に引き続き海外の高校生からも応募があった。今年は、アイデアで突出した作品が見られなかったため、最優秀賞は該当なしとした。

優秀賞は、オリジナルアイデア部門の坂卓実さん（茨城県立つくば工科高等学校）、自由部門の小縣直将さん他2名（岐阜県立岐南工業高等学校）、3Dモデリング部門の井原光貴さん（愛媛県立新居浜工業高等学校）の3名が受賞した。表彰式は10月29日に埼玉キャンパスで行われた。

審査結果

各賞	氏名	高校名
3Dプリンタ造形部門		
特別賞	豊田 倫久 永田 光希	岐阜県立岐南工業高等学校
佳作	峯谷 昭太郎	鳥根県立松江工業高等学校
佳作	泉田 優介	宮城県登米総合産業高等学校
3Dモデリング部門		
優秀賞	井原 光貴	愛媛県立新居浜工業高等学校
特別賞	吉田 旭翔 松浦 由晋	岐阜県立岐南工業高等学校
佳作	井村 光亨	岐阜県立岐阜総合学園高等学校
オリジナルアイデア部門		
優秀賞	坂卓実	茨城県立つくば工科高等学校
特別賞	Rainey Liu	—
佳作	宇高 竜英	茨城県立つくば工科高等学校
佳作	藤吉 空来	岐阜県立岐阜総合学園高等学校
佳作	日向野 凌太	クラーク記念国際高等学校
佳作	大城戸 優杏	熊本県立熊本工業高等学校

各賞	氏名	高校名
自由部門		
優秀賞	小縣 直将 吉田 旭翔 松浦 由晋	岐阜県立岐南工業高等学校
特別賞	加藤 慶大	群馬県立伊勢崎工業高等学校
佳作	市川 連也 坂口 颯	長野県岡谷工業高等学校
佳作	小谷 龍之介 山口 満生	松翠学園 岐阜第一高等学校
佳作	長谷川 新	茨城県立取手第一高等学校
学校奨励賞		
		宮城県気仙沼洋高等学校 岐阜県立岐阜総合学園高等学校 沖縄県立那覇工業高等学校 静岡県立浜松工業高等学校 群馬県立伊勢崎工業高等学校



第3回全国学生清掃週間 (NSCWeek) 開催

大学地元の海岸・河川のごみ清掃をテーマに、本学学生環境推進委員会と新潟県大学環境ネットワークが主催するSDGs活動で、3年目の今年は湘南工大と千葉大も参加した。新潟太夫浜海岸の清掃活動では、近隣の小学生と共に「海洋ごみアート」を制作した。9月の実績報告会では、本学の伴雅人教授による「マイクロプラスチック問題」と題する講演を

拝聴。プラ問題がもたらす次世代への深刻な健康影響について改めて学ぶなど、実りある活動となった。



清掃活動

夏休みの子供向け体験教室

夏休み期間中、小中高の児童・生徒とその保護者を対象とした、ものづくり体験教室が開催された。ものづくりや科学の魅力を体験できる多彩なプログラムが用意され、学部および共通教育学群の教員と学生が指導にあたった。子供たちにとっては、大学教員から指導を受けられる貴重な機会ということで、各イベントとも大変盛況であった。



リフレッシュ理科教室



親子ものづくり教室

Table with 4 columns: イベント名称, 主な内容, 実施日, 参加数. Lists various summer workshops like 'Light Stand Making' and 'Low-Temperature Liquid Nitrogen Experiment'.



保護者のための就職ガイダンス

近年の傾向として、インターンシップやオープン・カンパニーに参加した学生が、早期に希望する企業の内定を獲得するケースが増えている。これは、就活に積極的な学生の内定獲得が早いとも言えるが、企業がこれらの機会を通じて事実上の選考を行っていると考えられている。一方、2025年卒業生の就職活動準備も進んでいる。

就職支援情報 売り手市場のまま、25卒就活へ

【企業の動向】10月の内定式が終わり、2024年卒採用はいよいよ終盤の様相である。本学の9月末段階の内定率は前年同期比2ポイント増の83%と、学生優位、企業苦戦の状況が顕著である。内定者が採用計画に達していない企業は、一人でも多くの学生を採用するために積極的に活動を続けているが、売り手市場において会社説明会・選考への参加者は限定的である。そのため、大学訪問のアポイントが増加している。

財務状況報告 第56期決算・第57期予算

一はじめに 第56期決算、第57期予算が監査法人及び法人監事の監査を受け、法人理事会・評議員会で承認決定されたため、ここに財務諸表をお知らせし、関係各位のご理解と引き続きのご協力、ご支援を賜りたい。

Table 1: 資金収支計算書. Columns: 科目, 予算, 決算, 差異. Shows income and expense details.

Table 2: 事業活動収支計算書. Columns: 科目, 予算, 決算, 差異. Shows operational activity income and expenses.

Table 3: 借借対照表. Columns: 科目, 2022 (R4), 2021 (R3), 増減. Shows balance sheet items like fixed assets and liabilities.

Table 4: 資金収支予算書. Columns: 科目, 2023 (R5), 2022 (R4), 増減. Shows budgeted income and expenses.

Table 5: 事業活動収支計算書の主要項目の分析表. Columns: 主要項目の分析比率(%), 2022 (R4), 2021 (R3), 増減. Analyzes key items of the operating activity statement.

2022年度に本学が行った主な事業等は次の通り。 2023年度予算は、収入の部では、学生生徒等納付金について、4500万円の支出超過となった。このことから学校の諸活動を継続的に維持するための基本金組入額2億6500万円を差引いた当年度収支差額は3億1000万円の支出超過となった。 (別表5財務関係比率を参照)

Table 6: 資産の部. Columns: 科目, 2022 (R4), 2021 (R3), 増減. Details of asset categories.

Table 7: 負債の部. Columns: 科目, 2022 (R4), 2021 (R3), 増減. Details of liability categories.

Table 8: 純資産の部. Columns: 科目, 2022 (R4), 2021 (R3), 増減. Details of net asset categories.

※注: 千円単位等を表示する際に単位未満を四捨五入しているため、端数調整のための差異が生じる場合があります。

4・むすび コロナ禍の終息の兆しが見え始めた今年5月、3年あまたの時を経てついに新型コロナウイルス感染症は5類感染症とされた。地域の皆様や卒業生、多くの企業の支援により、学生の活動も一層活発化し、賑やかなキャンパスが戻ってきた。しかし依然として光熱費高騰など多くの課題は残っており、今後も関係各位のご理解とご協力は不可欠である。引き続きご支援を賜りたく、よろしくお取り計らいいただきます。 (財務部)

日本建設機械施工大賞 大賞部門優秀賞

機械工学科の石川貴一 工法の自動掘削システム
 明准教授が6月16日、日本建設機械施工協会令和5年度日本建設機械施工大賞の大賞部門で優秀賞を受賞した。受賞業績名は「ニューマチックケーソン工法の自動掘削システム」。



石川明准教授が賞状を手にしている様子

夏祭り 開催

報告

今年で51回目を数える夏祭りが8月5日、セントラルスクエアをメイン会場に開催された。

新型コロナウイルスが5類へ移行となつて初開催の夏祭りは、飲食物販売やアトラクションなどの模擬店が会場に多く立ち並び、学内外から多数の来場者が訪れ、盛り上がりを見せた。

また、毎年恒例の盆踊り大会や抽選会、音楽団体のライブなどで、コロナ禍前に負けない賑わいとなった。



電気情報通信学会 学生優秀発表賞



受賞した学生が賞状を手にしている様子

電子情報メディア工学専攻博士前期課程2年（平栗研究室）の尾金遼さんが7月13日、電子情報通信学会コミュニケーションシンクオリティ研究会の学生優秀発表賞を受賞した。受賞論文名は「雷撃の音圧と周波数によるシタケ子実体発生促進」。

将来的にはシタケの発生時期をコントロールする方法としての活用が期待できる。

中国の専門高校幹部 本学留学生を訪問

7月27日、29日にかけて、中国浙江省衢州市に所在する衢州中等專業学校から、衢州市教育局・姚文湧副局長を代表とする一行6名が来学した。同校は本学と同じく、実験や実習を重視した工



建築学科の学生作品展示スペースを見学

学教育を実践する専門高校であり、2007年に本学留学生別科（募集停止中）の協定機関として交流を開始。現在、同校を卒業した13名が本学学部で勉学に励んでいる。一行は7月28日に柳澤理事長、成田学部長（当時）を表敬訪問し、教育・研究施設を見学。姚副局長はじめ同校執行部は卒業生とも交流し、本学における活躍ぶりを喜んだ。同校と本学の事務担当者も教学に関する意見交換を重ね、夕刻に行われた歓迎会の場では、同校と本学で人的交流を深めていくことで合意した。

翌29日、一行は本学オープンキャンパスを見学し、各学科の教育・研究を体感しつつ、次の訪問地へ出発した。

2023年度 NIT Open Campus 実施報告

学生主体のオープンキャンパス テーマ「夢中が見つかる理系のバイキング！」

8月26日、埼玉キャンパスにおいて今年最後のオープンキャンパスを開催。今年最多となる1270名の参加者が来場した。この日は「夢中が見つかるトークショー」「保護者向け講演会」「入試対策講座」など、参加者ごとに合わせた特別イベントを実施。トークショーでは在学生在が大学入学後に夢中になっていること、クレーンゲームや建築模型の作品紹介など工業大学の魅力を伝え、多くの参加者と交流した。次回は2024年の3月23日（土）に開催予定。



地震想定避難訓練を実施

8月24日、埼玉キャンパスにおいて、地震発生を想定した防災訓練が実施された。

朝9時、宮代町内で震度6強の揺れを観測したとの想定で学内一斉放送が発信されると、シェイクアウト訓練が行われ、参加者全員が机の下に隠れるなど身を守る行動をとった。その後、避難指示に従って全員がグラウンドへ集合した。



負傷者搬送訓練

また9月15日には1年生対象の防災訓練が実施され、避難ルートの確認などが行われた。

人事異動

- 【名誉教授任命】(10月1日付) 成田健 前学長
- 【任用】(10月1日付) 小泉幸恵事務職員(総務部付)
- 【任用】(10月1日付) 風見真末事務職員(教務部付)
- 【任用】(10月1日付) 久平悦之助手(機械実工学教育センター)
- 【任用】(10月1日付) 小泉拓也事務職員(企画室)
- 【昇任】(10月1日付) 木許雅則准教授(電気電子通信工学科)↓教授に昇任
- 【昇任】(10月1日付) 徐華准教授(建築学科)↓教授に昇任
- 【昇任】(10月1日付) 田中章夫助教(建築学科)↓准教授に昇任
- 【任用】(10月1日付) 小田基市教授
- ◆学長補佐専門職大学院担当
- ◆教務部長 吉野秀明教授
- ◆学生支援部長 上野貴博教授
- ◆教育研究推進室長 荒川俊也教授
- ◆IR室長 片岡誠教授

- ◆企画室長 望月肇一教授
- ◆先進工学科長 新井啓之教授
- ◆建築学部長 小川次郎教授
- ◆基幹工学部電気電子通信工学科長 木許雅則教授
- ◆先進工学部情報メディア工学科長 勝間田仁教授
- ◆建築学部長 樋口佳樹教授
- ◆工学部電気電子工学科長 木許雅則教授
- ◆工学部情報工学科長 勝間田仁教授
- ◆工学部建築学部長 安野彰教授
- ◆共通教育学部長 佐藤彰教授
- ◆学生相談室長 川合耕一郎教授
- ◆教務部長補佐 竹村暢康教授
- ◆学生支援部長補佐 小山将史准教授
- ◆学生支援部長補佐 劉雯准教授
- ◆学生支援部長補佐 松浦隆文准教授
- ◆教育研究推進室長補佐

- ◆安原鋭幸教授
- ◆教育研究推進室長補佐 勝木祐准教授
- ◆IR室長補佐 山口剛准教授
- ◆大学院工学研究科環境共生システム専攻専攻長 伴雅人教授
- ◆大学院工学研究科機械システム工学専攻長 張曉友教授
- 【昇任】(10月1日付) 企画室主任 小泉拓也
- 【配置換え】(10月1日付) 戸部大輔財務課員↓入試課に異動
- ◆吉澤慎吾企画室員↓教務課に異動
- 【退職】(9月30日) 成田健一学長

入試対策講座を開催!

12/17日 一般選抜直前の入試対策講座のほか、キャンパスツアー、大学紹介、入試説明、個別相談、保護者対象プログラムを実施。詳細・申込はQRコードから。



宮代町の情報は、公式ホームページのほか、ツイッターやLINEで発信しています。@miyashiro-machi

観光情報や暮らしの情報、四季折々の風景などは伝えられない情報をお届けします!

ツイッター&LINEはこちらで検索!

- ◆木村貴幸准教授(電気電子通信工学科)↑同前
- ◆進藤卓也助教(電気電子通信工学科)↑同前
- ◆加藤利准教授(情報メディア工学科)↑出張先↑中国台湾10/23/目的↑中国台湾の企業との研究打合せ
- ◆樋口佳樹教授(建築学科)↑出張先↑中国台湾10/22/目的↑IWAASPIRE2023国際会議での研究発表および意見交換
- ◆竹村暢康教授(電気電子通信工学科)↑出張先↑マレーシア10/28/11/3/目的↑2023年アンテナ伝搬に関する国際会議における研究発表
- ◆荒川俊也教授(データサイエンス学科)↑出張先↑韓国(10/31/11/5)目的↑韓国機械学会 年次総会国際セッションでの研究発表
- ◆劉雯准教授(共通教育学群)↑出張先↑中国(11/9/11/13)目的↑2023年度アジア教育フォーラム参加のため
- ◆松浦隆文准教授(データサイエンス学科)↑出張先↑イタリア(9/24/10/1)目的↑2023年非線形理論とその応用に関する国際会議(NOLTA2023)で研究発表
- ◆木村貴幸准教授(電気電子通信工学科)↑同前
- ◆進藤卓也助教(電気電子通信工学科)↑同前
- ◆加藤利准教授(情報メディア工学科)↑出張先↑中国台湾(9/25/10/1)目的↑国際会議IHSEDにおいて研究発表
- ◆小林佳子准教授(情報メディア工学科)↑出張先↑カナダ(9/26/10/2)目的↑アートフェスティバルMAPPMTLの調査と日本工業大学における事例発表
- ◆石原次郎教授(情報メディア工学科)↑出張先↑アメリカ(10/2/10/11)目的↑The Other Art Dallas 2023 出展
- ◆ポータスジョン講師(英語学習サポートセンター)↑出張先↑アメリカ(10/10/10/25)目的↑ハワイ短期留学プログラム大学院生向けの引率および指導
- ◆長嶋仁美英語学習サポート
- ◆松浦隆文准教授(データサイエンス学科)↑出張先↑イタリア(9/24/10/1)目的↑2023年非線形理論とその応用に関する国際会議(NOLTA2023)で研究発表
- ◆木村貴幸准教授(電気電子通信工学科)↑同前
- ◆進藤卓也助教(電気電子通信工学科)↑同前
- ◆加藤利准教授(情報メディア工学科)↑出張先↑中国台湾(9/25/10/1)目的↑国際会議IHSEDにおいて研究発表
- ◆小林佳子准教授(情報メディア工学科)↑出張先↑カナダ(9/26/10/2)目的↑アートフェスティバルMAPPMTLの調査と日本工業大学における事例発表
- ◆石原次郎教授(情報メディア工学科)↑出張先↑アメリカ(10/2/10/11)目的↑The Other Art Dallas 2023 出展
- ◆ポータスジョン講師(英語学習サポートセンター)↑出張先↑アメリカ(10/10/10/25)目的↑ハワイ短期留学プログラム大学院生向けの引率および指導
- ◆長嶋仁美英語学習サポート